

## 第 2 回専門委員会における指摘事項について (最終処分場関係)

### 【廃棄物最終処分場の放流水等に係る実態調査について】

指摘事項・意見	対応
① 1,4-ジオキサン除去率について、浸出水と放流水の濃度比が80とか90%といった高値になっているが、水処理工程を考えるとこんなに高くなるとは思えない。 今後のこととして少し検討の必要がある。(中杉委員)	追加調査を行い、一般的処理工程の各プロセスごとの濃度推移を確認したところ、濃度の変化はほとんど、ばっ気処理の前後において見られることが確認されました。
② 1,4-ジオキサンの測定結果と pH や電気伝導度といった一般的なデータとの比較はどうか。アルカリ性が高く塩類濃度が高いと抽出されやすくなる性質がある。(小野委員)	管理型最終処分場の浸出水、安定型最終処分場の浸透水の1,4-ジオキサン濃度と pH 及び電気伝導度との関連性について、資料2-2において示しました。
③ 1,4-ジオキサン濃度と処分場の経過年数の関係を示す図の経過年数とは、埋立開始後か、終了後か。(遠藤委員)	埋立開始後の年数です。
④ 埋立終了後とそうでない処分場とで分けてデータがあった方が検討しやすい。(遠藤委員)	それぞれでの濃度のばらつきについて、資料2-2において示しました。
⑤ 浸出水を採ったのが調整池の前か後ろかがデータとしてあった方がよい。 また、調整池が地下か地上かによってもデータが違ってくる。(遠藤委員)	採取は、なるべく埋立地の直後でお願いしており、そうでない場合は採取場所を特記していただいている。 分類後の散布図は資料2-2において示しました。
⑥ 安定型処分場について、処分場によっては浸透水が溜まり水となっている場合がある。可能なら確認できないか。(松藤(敏)委員)	採水時に把握した嫌気性、準好気性の区別と、1,4-ジオキサン等の濃度について検討しましたが顕著な関係性は見られませんでした。
⑦ 今回の調査結果を受けて、我が国の状況が緊急に対策を要するレベルなのかどうかといった位置付けについて整理する必要がある。(松藤(康)委員)	当委員会に御相談の上、報告書作成時においては、そういった総括的な評価についてもまとめていくこととします。

【論点整理案について】

指摘事項・意見	対応
<p>① 塩化ビニルモノマーや 1,2-ジクロロエチレンの排水規制については、水質汚濁防止法に基づく排水規制が行われるかといったことを踏まえる必要がある。(中杉委員)</p>	<p>両物質の管理型処分場での排水規制の可否については水質汚濁防止法に基づく排水基準設定の動向を注視していくこととします。</p> <p>一方、安定型処分場浸透水基準につきましては、排水規制ではなく埋立物の質の判定に用いるものですので、そういった観点で検討することとします。</p>
<p>② 1,4-ジオキサンに係る論点整理において、排水処理設備による対処の可能性とか技術の導入コストについての検討を暫定排水基準の検討においてのみ対象としているが、排水規制そのものの値に係る検討においても対象とするべき。(酒井委員長)</p>	<p>御指摘を踏まえ検討します。</p>
<p>③ 水道サイドでも処理検討を重ねているので、そういった情報も参考にさせていただくとよい。(佐々木委員)</p>	<p>情報収集にあたっては、水道関係での検討についても含めていくこととします。</p>
<p>④ 最終処分場に一度持ち込んでしまうとなかなか濃度が下がらないという実態もある。放流水の管理だけではなく、元を絶つという考え方が必要。(佐々木委員)</p>	<p>排水規制と併せて廃棄物の持込に関する規制も検討を進めているところです。</p>

【浸出水処理施設における 1,4-ジオキサン濃度の推移調査について】

指摘事項・意見	対応
<p>① 複数箇所での同時サンプリングでは、処理プロセスでの滞留時間を反映できない。そういったことを考慮し、完全には困難だが、マテリアルバランスを取ることを意識して調査計画を策定すべき。(松藤(康)委員、中杉委員)</p>	<p>サンプリングにあたっては、可能な限り処理プロセスでの滞留時間を考慮しました。</p>
<p>② 調査対象は排水処理工程が多いところに限定する必要はない。(中杉委員、酒井委員長)</p>	<p>処理工程数に拘ることなく選定を行うこととしました。</p>

指摘事項・意見	対応
<p>③ 除去率が高くなっているのは、受入水質の変動の影響が大きいのではないか。浸出水、放流水の変動がどれくらいあるのかの調査も行っていただきたい。(野馬委員)</p>	<p>浸出水を4日連続でサンプリングし、1,4-ジオキサン濃度の日変動を把握した結果、大きな差は見られませんでした。</p> <p>放流水についても、希釈処理を行っている施設を除き、1,4-ジオキサン濃度に大きな差は見られませんでした。</p>